

JMCC 通信 VOL.42

発行日/2024年 2月吉日 発行/日本医療介護協同組合 〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目7番20号 <https://jmcc.or.jp/>

ミャンマー特定技能人材の面接とガイダンスを行いました

私たち日本医療介護協同組合は、登録支援機関としても許可をいただいております。

今回、ミャンマーの特定技能人材について、2月1日に一次面接を、2月10日に二次面接を行いました。6名の候補者から2名に内定をいただきましたが、今回も全員の候補者がN3取得済という優秀なみなさまで、面接の9割以上が日本語のみで行われました。

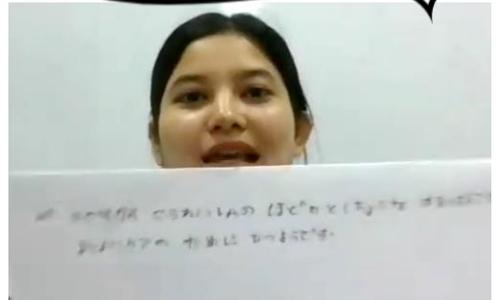
受け入れ法人様も優秀なみなさまを前に、最後の最後まで選考に頭を悩ませていたようです。内定された方、おめでとうございます！

2月後半には、入国管理局への申請書類準備、ミャンマー政府へのスマートカード申請準備やオンラインでのガイダンスを行いました。このガイダンスは法令で定められたもので、雇用条件等について通訳を入れて、細かく3時間かけてしっかり説明していきます。

一方、先日、突然ミャンマー政府が徴兵制を開始というニュースも入ってきました。まだ大きな混乱は生じていないようですが、大使館に出国を求める申請人の長蛇の列ができたという報道を目にしたりと少し心配があります。

ミャンマーの提携先と最新の情報にアンテナを張りながら、今回の内定者が無事に入国し日本で活躍できるように、引き続き準備を進めていきます。

日本語の書き取りテストも
行います。聞き取りも筆記も
とても上手で驚きました。



緊張している人、笑顔がこぼれる人、
自分の志望動機を長文の日本語で
熱く伝えてくれた人…
みなさま本当に優秀で、選考は
かなり難航した模様です。

年に1回の同行監査がありました

技能実習制度では、年に1回、外部の監査役との同行監査があります。施設に監査役の方にご同行いただいて、技能実習が正しく行われているか、監理団体による監査の実施状況についての確認や、実習生との面談も行われました。

今回はミャンマー技能実習生2名との面談でした。N2を取得済みの2名の流暢な日本語対応にも、にこやかな受け答えにも、監査役の方は終始感心されていました。

同行監査の結果は「良好に実習が行われている」との評価をいただくことができました。法令順守で今後も対応してまいります。

書類の作成・管理など、
3ヶ月ごとに組合が行う監査が
正しく行われているか、
チェックされます。



外国人材の「一時帰国」って実際どうなの？

技能実習では基本的に3年間、一時帰国せずに就労します。特定技能でも長期のお休みを取ることはなかなか難しいのが現状です。

外国人材が一時帰国で長期で仕事を離れたら、家族と離れられなくなって帰ってこないのではないかと、日本語も仕事のレベルも士気も下がってしまうのではないかと、一部ではそのような懸念をお持ちの法人もあるかもしれません。

技能実習から特定技能に在留資格を変更した在日4年目のベトナム人たちは、施設様の全面的な協力もあり、2週間～1ヶ月のお休みを取ることができました。

まずは、一時帰国後の彼女たちの言葉に、耳を傾けてみてください。

ご本人の理解を取り、原文のまま掲載させていただきます。家族と再会することで、ますます強い意志と覚悟をもって日本で働く道を選んだ彼女たちのことを、もっと応援したい気持ちが強くなりました。みなさん、本当にありがとうございます！

「ベトナムに到着しました」とLINEで連絡をくれました♪



他の方の意見はわからないんですが、今は私にとって日本に戻った後に目標がたくさんあります。

- 実務者研究を勉強する予定です。
- 2025年介護福祉士の試験を受けてみたいです。

今、心から楽しみに日本に😊戻る。

将来と安定の仕事のために戻った後にもっと頑張ります💪。

長期休暇をとって、この仕事を辞めようとは全く思っていませんでした。

介護福祉士を取得するためにもっと日本語を勉強します。両親を日本に連れて行きたいです。

まず、皆様がいつも私たちのような外国人のことを心配し、考えてくれていることにとっても感謝しております。皆様の懸念は理解出来ます。家族と再会し、毎日一緒に過ごし、仕事を続けるためにまた離れて一人暮らしをしなければならないのは、本当に寂しい感じですよ。私も長期休暇を経て、仕事に復帰できる日を考えると不安になることがありました。長い間日本語を使っていないので、コミュニケーションの際に口が重くなるのが心配でした。しかし幸いなことに1か月は長すぎず、同僚の助けのおかげで、すぐに仕事に慣れることができました。

むしろ、そのような懸念があるにもかかわらず、私はインターン生を帰国させることの良い点があり、精神的に大きな意味があると思います。家族に会えなかったり、子どもたちの成長を見られなかったり、両親が病気で看病できなかったりする3年間は、いつも自分自身が情けなくります。家族と再会した後、私たちは精神的に強くなり、日本に戻り、続けて目標を達成し続ける意欲を感じております。ただし、これは私の個人的な意見ですので、すべての人に当てはまるわけではありません。仕事や経済状況が許せば、たとえ短期間であっても、年に一度は母国に戻り、家族に会いに行きたいと思っております。それは出来ればとても幸せと思います。

私の意見を聞いていただき、誠にありがとうございました。

お問い合わせは
こちらへ

東京都病院協会賛助会員
JMCC
Japan Medical & Care Cooperative

日本医療介護協同組合 <https://jmcc.or.jp/>
〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目7番20号
平河町辻田ビル7F
TEL 03-3221-7010

